

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	健康福祉部
	03111-1	給付事業(障がい者支援事業)	室名	高齢障がい支援室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計 一般会計
	基本施策	05:障がい者の社会参加の促進	務	款 民生費
	施策の方向	03:だれもが暮らしやすい社会に向けた取り組み	科	項 社会福祉費
戦略プロジェクト		目	目 障がい者福祉費	

② 目的・概要	対象	①20歳以上の若で身体障害者手帳1級・2級、知的障害者と判定された知能指数が35以下の者、身体障害者手帳3級・4級で知的障害者と判定され知能指数が36以上50以下の者 ②在宅で著しい重度の障害が重複してあるなど、常時特別の介護を必要とする20歳以上の者
	目的・概要	①重度心身障がい者の介助者に亀山市重度心身障がい者介助者手当(月額3,000円)を支給することにより、福祉の増進に寄与する。 ②「特別障害者手当等給付費国庫負担金交付要綱」に基づき特別障がい者手当及び経過的福祉手当の支給を行う。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称	広報周知回数	計画値			
		補足		実績値	1	1	1
		単位			回	回	回
	成果	② 名称		計画値			
		補足		実績値			
		単位					
① 名称	重度心身障がい者介助者手当及び特別障がい者手当給付率	計画値					
	補足 受給者数/対象者数	実績値	約51	100	100		
		単位	%	%	%		

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					①重度心身障がい者介助者手当 平成26年度支給実績 支給者数:514人 手当金額合計:17,934,000円			
					②特別障害者手当、経過的福祉手当 平成26年度支給実績 支給者数:21人 手当金額合計:6,412,960円			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	296	平均給与額×③
		事業費		24,501	24,417	一般職員人件費 ②	296	
		国庫支出金		4,810	4,810	所要人員 ③	0.04	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤	0	
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		19,691	19,607			
	再掲	翌年度への繰越額						
	前年度からの繰越額							
	総人件費		①	296				
	総コスト		⑥	24,713				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	重度心身障がい者介助者手当及び特別障がい者手当の支給により、障がい者及びその介助者の経済的な負担軽減につながった。	総合判定	B
			まずは進んだ	
	【反省点・課題】	平成22年度事業仕分けにより、重度心身障がい者介助者手当については不要との判定を受けている。平成26年度、第4期障がい福祉計画策定時に実施したアンケート調査結果をふまえて、制度廃止について検討を行う必要がある。		
【改善の方向性】	重度心身障がい者介助者手当については、現金給付に代わるサービスの提供方法を考えることにより、手当廃止に向け検討を行う。			
事業目的の妥当性: 見直しの余地あり 有効性: 見直しの余地あり 最終評価確認者: 高齢障がい支援室長 古田 秀樹				